

第22回定期大会を開催！

7月10日、地本は、「吹田市立勤労者会館」において第22回定期大会を開催しました。大会は、山口副委員長の司会で始まり、議長に今田代議員（大二運分会）、有村代議員（地区分会）を選出し議事が進められました。

地本執行委員会を代表して、小林委員長から「①多くの組合員とOB、そして来賓のみなさんに参加して頂いた。また、多くのメッセージも頂いている。皆さんに支えられ一年間の闘いが実現できたことへのお礼。②職場で展開されている強権的な職場支配を許さない闘い、本人訴訟など、不当なボーナスカットに対する闘いを強化しよう。③戦争のできる国づくりを進めている安倍政権の暴走をストップさせよう。いいなりになる労働組合、いいなりになる人間づくりに反対していこう。④出向先、地域の労働者との積極的な連帯をつくりだしていこう。⑤『たしろ応援プロジェクト』で培った組織力を更に拡大していこう。⑥東海労結成25周年！この間の闘いをしっかりと確認して更に前進していこうと挨拶がありました。

そして、来賓として、摂津平和人権センター用殿議長、新聞うずみ火の矢野代表、大阪労働者弁護団定岡弁護士、JR西労関西地域本部、JR貨物労組関西地本、JR東海労本部、JR東海労新幹線地本、JR東海労静岡地本、JR東海労名古屋地本、地本OB会、鉄道ファミリーから連帯の挨拶を頂きました。

質疑では、『たしろ応援プロジェクト』の闘い「ボーナスカット攻撃に対する本人訴訟の闘い」「安倍政権の暴走を許さない。労働者・市民・近畿地協の仲間との連帯の強化」「職場諸要求の獲得、効率化反対、検査周期延伸に対する闘い」「出向先の労働条件の改善」「今後の組織体制について」など12名の代議員から発言がありました。代議員の発言を受けて、各部答弁、畑野書記長の総括答弁を行い、新たな役員体制を確立して、組織強化・拡大のために更に奮闘していくことを確認しました。

